

FOR IMMEDIATE RELEASE  
2022 年 3 月 23 日

CONTACT: Masako Miki  
[mmiki@janm.org](mailto:mmiki@janm.org)  
213. 830. 5636

## 日系人強制収容教育法の連邦下院通過についての JANM の声明

全米日系人博物館は、法案提出者のドリス・マツイ下院議員のリーダーシップにより、日系人強制収容教育法（JACE）（H. R. 1931）が米国下院で可決されたことを祝います。

この JACE 法は、日系アメリカ人収容所跡（JACS）助成金プログラムに 3,200 万ドルの追加資金を提供するものです。また日系アメリカ人の団体に、現在および将来の世代のアメリカ人が日系人の収容経験と、その後の法の下での平等な正義に対するアメリカの取り組みから学んでいけるよう教育プログラムを実施していくために 1,000 万ドルの資金を提供します。

2006 年にビル・トーマス、ドリス・マツイ、マイク・ホンダが提出した超党派の法案によって 3,800 万ドルの認可を得て設立された「JACS 助成金プログラム」（公法 109-441、120 Stat. 3288）は、第二次世界大戦中に日系アメリカ人が収容されていたアメリカの収容所の保存と教育のための資金を提供するものです。2009 年のプログラム初年度から、24 州とコロンビア特別区で行われた 268 のプロジェクトに 3,600 万ドルの資金が提供されています。この当初の資金は 2022 年に全て使い果たされる予定です。

H. R. 1931 の可決は、大統領令 9066 号の発令から 80 周年と重なり、戦時中の日系人に対する不当な扱いが後世に記憶されることをより確実にしてくれるものです。「この法案が下院で全会一致で可決されたことは、アジア系へのヘイトを根絶し、社会正義のために闘い、歴史的記録の調査を続けるために必要な超党派性を体現しています」と、アン・バロウズ JANM 館長兼 CEO は述べています。「同法案が立法過程に進むにあたり、私たちは、これらの貴重な教訓が議会の共感を呼び、日系アメリカ人の第二次世界大戦の経験に対する国民の理解を促進するために、JACS 助成プログラムへの資金提供を継続してくれることを期待します」。

###